

## ぼくのおとうと

本多 叶夢

らいちゃんはようちえんに通う5さいのぼくの弟だ。たべることが大好きで、すぐに

「おなかがすいたー。何かたべたいよー。」  
とグズグズさわぎだす、くいしんぼう。

一人あそびが好きで、家ではおとなしくきょうりゆうのおもちやでたたかいごっこをした  
り、ぬりえを上手にぬっている。

そんならいちゃんをぼくは、かまいたくてしかたがなく、ちよつかいをだすとらいちゃん  
はいやがってないてしまう。そしてぼくはまいにちのようにお母さんにしかられて、らい  
ちゃんをにらみつける。

「おにいちゃんなのにどうしてやさしくしてあげないの。もつと弟を大切にしておきな  
さい。」

とお母さんに言われるけど、ぼくはおにいちゃんになりたくてなったわけじゃないし、弟が  
ほしかったわけじゃない。一人っ子だったらお母さんもお父さんもぼくにだけやさしくし  
てくれるし、おもちゃもゲームもぜんぶ一人じめできるのに、とぼくはいつも思う。

らいちゃんに好きな人をきくと、

「ままが1位でばばが2位であばが3位で。」

聞いてみると、どんだんいろんな人の名前がでてきて、ぼくはあせりだす。7位くらいになってようやくぼくの名前がでてくると、お母さんとお父さんはわらっている。けどぼくはわらえない。

「どうしてぼくはいつも7位なの。」  
と聞くと、

「だっていつもいじわるするからだよ。」

といわれる。くやしいけど、そのとおりだとおもう。ぼくは、じゅん位を上げてもらうのにひっしらいちゃんのごきげんとりをはじめ。おもちゃをかしてあげたり、ほめてあげるといつきにぼくのじゅん位は2位になる。らいちゃんはとつてもたんじゅんだ。だけどそこがかわいいところでもある。

らいちゃんにとつてのぼくは、7位からたまに2位になって、また7位にもどるお兄ちゃんのような。ぼくは、その順位よりらいちゃんは上だけど、はずかしいからないしよにしておく。こんなきょうだいのかんけいが、ぼくたちにはちょうどいいと思う。